



特集

枕崎市 稚内市
友好都市締結10周年記念

枕崎市民団が稚内を訪問

①稚内駅で記念撮影する訪問団 ②稚内関係者から歓迎を受ける訪問団 ③開基百年記念塔・北方記念館



④日本最北端の地「宗谷岬」で記念撮影する訪問団 ⑤稚内港北防波堤ドームでの歓迎交流会の様子 ⑥前田市長から稚内市長へ記念品贈呈 ⑦記念品の薩摩切子のお猪口 ⑧⑨交流会での食事(いくら丼、ホタテ、タラバガニなどの海の幸) ⑩旭山動物園のシロクマ ⑪富良野の花畑で記念撮影する参加者 ⑫美瑛のブルーリバー橋で記念撮影する参加者 ⑬旭川駅長と挨拶を交わす永野議長 ⑭旭山動物園で記念撮影する訪問団

その後は、北海道遺産にも認定されている「稚内港北防波堤ドーム」に場所を移し、歓迎交流会が開かれました。歓迎交流会では、工藤広稚内市長から「久しぶりにお会いした枕崎の皆さんに楽しい時間を過ごしていただきたい。両市の交流がいつまでも充実しながら繋がることを心から祈念します」と歓迎の挨拶がありました。また、本市から稚内市へ記念品として、JR北海道とJR九州のそれぞれのコーポレートカラーにあわせた緑と赤の薩摩切子のお猪口が前田市長から贈呈され、岡本雄輔稚内市議会議長の乾杯で交流会がスタート。ホッケや焼きタラバガニ、いくら丼など稚内の海の幸に舌鼓を打ちながら両市の交流を深めました。

6月16日に枕崎を出発した市民訪問団19名は、翌17日に北海道旭川市から特急宗谷に乗り、午後0時40分に稚内駅に到着しました。稚内駅には川野忠司稚内副市長をはじめとするたくさんの方々が集まり「ようこそ！日本のてっぺん稚内へ」と書かれた横断幕を掲げ、列車から訪問団が降りてくると盛大な拍手で迎えられ、熱烈な歓迎を受けました。稚内駅ホームに掲げられた「北と南の始発・終着駅」の看板の前に記念撮影をした訪問団は、日本最北端の地「宗谷岬」や開基百年記念塔・北方記念館など稚内市の名所を訪れました。



⑩稚内駅で工藤稚内市長に見送られる訪問団

翌18日、日本最北のまち稚内市を楽しんだ訪問団は、工藤広稚内市長や多くの関係者に見送られる中、特急サロベツ2号に乗り稚内市を後にしました。旭川市に到着後、前田市長をはじめとする行政関係者と別れた訪問団は、美瑛や富良野、旭山動物園などを観光した後、19日に枕崎に戻りました。今回は枕崎市民が稚内市を訪問しましたが、10月には稚内市民が枕崎市を訪問します。枕崎市民一体となって稚内市民の皆さんのおもてなしをして、両市の交流をますます深めましょう。問合せ 企画調整課企画調整係 TEL 761089

interview



大工園正弘さん(71)・裕子さん(67)

今回の訪問が、初めての北海道になりました。なかなか行くことのできない最北端の地に訪問する機会を設けていただき、夫婦ともども感謝しています。

稚内市に着いてからは、駅でのお出迎えや歓迎交流会、各訪問地での稚内の皆さんの心尽くしのおもてなしにとっても感激しました。訪問した場所の中でも印象深かったのは宗谷岬でした。日本のてっぺんへ来た到達感や、学生時代に学んだ間宮林蔵の立像を前にここから樺太を目指したのかなと思いを巡らせました。稚内市をたつ朝には、稚内市長はじめ多くの方に、お休みにもかかわらず駅まで見送りにきていただき、さらに感動しました。10月に稚内の皆さんが来られる際は、お礼の気持ちを込めて、できる限りのおもてなしで迎えたいと思います。